

【試合結果】

男子 決勝トーナメント		決勝															
日時	平成29年8月6日 (日)	13:50 ~															
会場	北海道立北見体育センター																
結果	●	○															
	北見北 オホーツク	<table border="0"> <tr><td>15</td><td>—</td><td>16</td></tr> <tr><td>21</td><td>—</td><td>21</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>19</td></tr> <tr><td>16</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	15	—	16	21	—	21	15	—	19	16	—	17		OT	
15	—	16															
21	—	21															
15	—	19															
16	—	17															
	OT																
審判	主審	副審															

第47回北海道中学校バスケットボール大会



【ボックススコア】

北見北		オホーツク						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	宮村 詩恩	×	27	2	9	3	3	2
5	吉野 涼	×	12	0	6	0	2	3
6	山田 陽大	×	0	0	0	0	0	4
7	元村 峻太	×	2	0	1	0	2	4
8	越田 大翔	×	18	2	6	0	8	2
9	鴨田 悠作	/	8	0	3	2	1	4
10	川辺 柁							
11	浜口 大空	/	0	0	0	0	0	2
12	細川 優斗							
13	鎌田 隆聖							
14	藤井 琉空							
15	山腰 巧斗							
16	東海林 介稔							
17	加藤 颯							
18	田中 海聖							
HC	大浦 幸一							
合計			67	4	25	5	16	21

札幌清田		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	藤岡 大翔	×	15	1	5	2	3	3
5	奥村 飛龍	×	9	1	3	0	5	1
6	瀧山 歩	×	17	1	4	6	3	0
7	前田 峻	×	7	2	0	1	1	2
8	篠原 隆世	/	0	0	0	0	1	1
9	岩根 光哉							
10	高橋 泰志	×	23	0	9	5	8	1
11	畠中 翔麻							
12	網島 豪							
13	大長 宜興	/	2	0	0	2	0	1
14	吉持 優哉							
15	川村 亘							
16	亦野 翔太							
17	佐藤 奨真							
18	菅原 静仁							
HC	高橋 和也							
合計			73	5	21	16	21	9

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし  
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【選評】

1Q、北見北は4、5、6、7、8、清田は4、5、6、7、10でスタート。北見北は8のドライブ、3Pの連続得点でリズムをつかむ。一方の清田は10のインサイドアタックから攻撃を展開していく。開始4分で9-7と北見北がリード。清田は10のインサイドアタック、4のドライブで北見北のファウルを誘う。開始5分で北見北は6、7が2ファウル。開始6分、北見北6が3ファウルになり、9と交代。残り37秒、清田10が執拗にインサイドを攻め、北見北7が3ファウル。1Qは15-16と清田がリードして終了。

2Q、北見北は開始1分で4の3P、5のドライブからのバウケツカウント、9のカットインで逆転し、点差を8点差に広げる。しかし、清田7が3Pを決め、ダブルチームのプレッシャーディフェンスからレイアップですぐに点差を縮める。開始3分で26-24と北見北がリード。そこからは清田10インサイドシュート、北見北4のドライブでお互いに得点を取り合う。ブザー終了間際、清田5がシュートを決め、36-37と清田リードで終了。

3Q、最初の攻撃で北見北5、8のドライブとバスケットカウントで逆転。清田は6がすぐに3Pを決め、点差を広げさせない。開始2分、北見北7が4ファウルで交代。開始3分半、清田4の3P、バックビハインドパスからのアシストで清田が43-47とリードを奪う。北見北は、前半決まっていたアウトサイドシュートが決まらなくなり、なかなかリズムをつかめなくなる。開始7分、清田4がバスケットカウントをねじ込み、北見北6が4ファウル。3Qは51-56と清田がリードして終了。

4Q、開始1分50秒、清田5の3P、4、6のドライブで53-63と点差を広げる。ここで北見北がこの試合初めてのタイムアウト。清田6がフリースローを確実に沈め65-53とサイドの点差になる。北見北は4の個人技でなんとかつなぐが、清田10のインサイドアタックを止めることができず、点差が縮まらない。残り1分半、62-71のところ北見北がタイムアウト。北見北はボールを奪いにプレッシャーをかけるが、清田が確実にパスを回して時間を使う。最後はに逃げ切った清田が67-73で優勝。両チームの健闘を讃えたい。